

まほろば



2012.1・2
第126号

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

昨年は東日本大震災をはじめ多くの深刻なことが起こりました。新しい年が穏やかな年でありますよう祈っております。

昨年、念願の新病棟が完成し、10月中旬から新病棟での診療をはじめています。概ね好評ですが、正面玄関から病棟入り口までが150mほどと遠く、入院患者・ご家族の皆様にご不便をおかけしています。利便性の改善のためにも、外来・管理棟の建替が必要であり、数年内の新病棟の北側の隣接地への建替を実現させたい

と考えています。

本年4月には包括支払い制度であるDPC対象病院となります。弘前病院の医療の標準化・効率化や医療の質の向上に寄与するものと期待しています。

診療内容では、特にがん診療の一層の充実が必要であり、外来化学療法の実施環境整備と緩和ケアチームの立ち上げを計画いたします。

本年も周産期医療・成育医療、がん診療を弘前病院の柱として、安全で安心な医療を提供により地域医療に貢献する所存です。どうぞ、よろしく願いたします。

院長：佐藤 年信

新しい年に - 2012年辰年 -

平成24年(2012年)、今年の干支は「辰」。

「辰(竜)」は、十二支で唯一想像上の動物で、「東に青龍」というように、中国の伝説では東方を守護する神獣で水中に棲み、啼き声で嵐や雷雲を呼び、竜巻となって天に昇り飛翔するとされています。姿は「九似」といって、角は鹿、頭は駱駝、目は鬼、項は蛇、腹は蟹、鱗は魚、爪は鷹、掌は虎、耳は牛に似ていると言われます。この異形をもって竜はあらゆる動物の頂点に君臨し、最高の瑞祥とされました。そのため、中国では皇帝のシンボルとされ、「竜影」(帝王の姿)、「竜顔」(帝王の顔)、「袞竜」(帝王の衣服)等、帝王にまつわるものには「竜」がつくことが多いようです。

辰年生まれの人格はというと、明るく好奇心旺盛でプラス思考の行動派。早くからチャンスをつかんで頭角を現しますが、熱しやすく冷めやすい一面もあるそうです。以前、「辰年生まれの有名人の中で、最も

辰(竜)的だと思う人は？」という質問で、男性第1位は王貞治さん、女性第1位は高島礼子さんという結果になったことがありました。どうでしょう？

今年「辰年」の一代様は、弘前市の愛宕様「愛宕山橋雲寺」です。奉られている普賢菩薩は、仏の理性を現し、特に慈悲を司る仏とされ、延命の徳を持つといわれています。

今年一年、皆様にとってますます良い年になりますように。



地域医療連携係：工藤 真淑

1月の市民講座『甲状腺の病気について』



今回(第75回)の市民講座は弘前大学大学院内分泌代謝内科学 須田俊宏 教授のお話でした。

我が国で、甲状腺に異常を抱える人は、その多くが女性で、その数は1,000万人以上とのこと。甲状腺の異常は、機能の面で見ると、甲状腺ホルモンの分泌量が多過ぎる場合と、少な過ぎる場合があります。分泌が多過ぎる病気の代表はバセドウ病です。これは甲状腺の細胞が自分自身を刺激してホルモンを分泌するもので、眼球の突出と交感神経刺激症状(発汗、頻拍、やせ、等)を呈します。このような疾患に薬物、放射線、手術による治療が、患者の状態、状況をみながら選択して行われますが、治療の難しさは、体にちょうど適切な量の甲状腺ホルモンを維持させることにあるようです。ホルモン分泌が少ない代表疾患は橋本病で、

全体に元気が無くなり、粘液水腫(むくみ、指で押すとすぐに戻る)が見られるようになります。妊娠と甲状腺機能も重要な問題です。妊娠中に胎盤から分泌される物質が刺激となって甲状腺ホルモンの分泌が亢進し、分娩後にこれが急速に低下します。そのため母体は甲状腺の機能亢進と低下の両方に曝されることとなります。このホルモン異常が母体に及ぼす身体的、精神的影響は小さくありません。

一方、甲状腺は「腫れ」が問題となる臓器です。甲状腺は気管の前、喉仏(ない人はその辺り)の下にありますので、腫れると気づきやすく、触知することも容易です。「腫れ」は機能亢進でも、機能低下でもみられ、もちろん、悪性腫瘍でも見られます。

さて、甲状腺の病気は、軽症ならば治療は比較的容易ですが、これを放置すると、たとえ良性疾患(バセドウ病など)でも治療するのが難しくなるそうです。だから大事なことは、朝、歯磨きしながら鏡をみて、このごろ瞼が腫れて来た、喉のあたりが何となく腫れていると感じたら、躊躇せずに専門医に診てもらってください。

臨床研究部長：泉井 亮

第75回 国立弘前病院市民講座

甲状腺の病気について

弘前大学大学院内分泌代謝内科学教授
須田俊宏 先生

日時:平成24年1月25日(水)17:40~18:40
場所:弘前病院地域医療研修センター
どなたも自由にどうぞください

弘前病院教育管理委員会

『年男・年女』



「年女、雑感」

私は、今年、年女。年の初めに決意したことは、皆様に迷惑をかけないで、一年を元気で働くこと。実は、年女は今回が5回目。思い起こせば、これまで多くの人に出会い、多くのお世話になりました。互助会のレクリエーション、楽しかったですね。男鹿、松島、佐渡、ディズニーランド、花巻、秋保、留寿都。男鹿の「なまはげ」は迫力満点。松島的美しかったこと。ディズニーランドでは特等席からターザンの肉体美や美女のファッションを堪能。留寿都の絶叫マシンを乗り尽くさんとハッスルし過ぎ、帰りの土産は両肩痛。等々。

さて、最近の私。朝湯で元患者に「オハヨー」と挨拶され「ドキッ」。名前がわからない。「世話になったっきゃ」ときたので「膝、腰悪い人いたら宣伝してけへー」。「はい」との返事で「ホッ」。弘前病院は大先輩方の努力があって今があります。私も後に続いていきたいと思っています。

看護師：古川 文代



年頭に思うこと

戦後日本の復興を世界中に知らしめた東京オリンピックが開催された、昭和39年生まれの子供の辰年です。高度経済成長時代の中で、明るい未来の到来を信じて、まっすぐ前だけを見て育ちました。実際、年々家庭や社会が裕福になっていると実感できました。そのため私達の年代は人間として非常に素直にできています。しかし、どんなにできた人間であっても48歳という年齢には勝てません(原発の耐用年数も超えています)。新しい物事はなかなか覚えられず、目は遠くも近くも見えにくく、手は震え、腰は痛くと、知力も体力も低下の一方です。若い時と変わらないのは酒の量と、靴下要らずの足の温かさぐらいです。

次に辰年を迎えるときには引退のときです。それまでの間は、決して依怙地にならずに皆の意見や助言を聞き、自分ひとりではできないことは協力を仰いでいきたいと思っています。そして、ご苦労様でしたと、赤い服を贈ってもらえるような、じさま医者になりたいです。

外科医師：高橋 克郎



明けましておめでとうございます。

昨年は東日本大震災と大変な年でしたが、今年は良い年でありますようお願い申し上げます。昨年4月に転勤して約一年。初めて北国の冬を経験し、厳しい寒さと連日降り続く雪の多さに驚く毎日です。

今年は辰年、そして年女。こつこつ努力して一日一日を大切に頑張っていこうと思います。

本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

臨床検査技師：畠山 カヨ

『年男・年女』



2012年の抱負

私がこの国立病院機構弘前病院に配属されてから、早いもので一年が経とうとしています。新人という肩書きも外れる時期になりましたので、2年目の放射線技師として、また今年24歳の年男としての抱負を述べたいと思います。

私は現在、一般撮影やCT撮影の業務を中心にを行っています。ようやく一通りの業務をこなせるようになってきたばかりなので、これからはより早く正確に検査を行えるようになること、患者様の負担を少ない検査を行えるように自分なりに考えて撮影できるようにしたいと思います。また、ただ撮影して終わりではなく、その撮影がどういう意味を持つものなのか、どのような診断に役立つものなのか、ということをもより深く理解できるようにしていきたいです。

まだ関わっていないモダリティもあり、これらの撮影法も覚えて早く一人前の放射線技師になれるように頑張っていきたいと思いますので、これからもよろしくお願いします。

放射線科：三達 慎也

『クリスマス おゆうぎ会』



12月11日(日)院内風の子保育園のホールでおゆうぎ会を行いました。

19名の園児が元気なうた、げき、ゆうぎと日頃の頑張りを家族に発表しました。

まっかなふわふわの衣装をつけて「とんと

とんとマトちゃん」と泣かずにかわいいポーズができた初舞台の0歳つくし組。

おそろいの蝶ネクタイ姿で「マルマルモリモリ」と歌いながら笑顔のマルモリダンスの2歳ちゅうりっぷ組

海辺をバックに「夏あげモーション」で元気いっぱい「ポイポイポイポイのピー」とリズムにのった3-4歳ばら組。

カウボーイハットをかぶりロディにまたがり格好よくきめた「ちびっこカウボーイ」また、はなみづきの花をもちお父さんもうっとりの着物姿の「花」、エグザイルのダンスに挑戦し難しいステップも頑張っって舞台狭しと『ライジングサン』を踊った、5-6歳ゆりひまわり組。

プログラム終了後、すこし早いサンタクロース登場に大喜び、プレゼントをもらいニコニコ笑顔の子ども達でした。

12月14日(水)病院の職員及び入院されている患者様の前で『みなさんを元気づけるために慰問に来ました』と、大きな声であいさつしおゆうぎを披露しました。

おゆうぎ会同様に「ポイポイ」と歌いながら元気いっぱいチャラ男になりきって踊り、またカウボーイ姿やエグザイルダンスをはりきって格好よく踊りました。おしゃれなゆかたでおしとやかに踊った子ども達に会場からたくさんの拍手をいただきました。

さいごに全員で弘前城築城400年をお祝いして「たか丸くん体操」を会場のみなさんのあたたかい手拍子で元気に踊ることができました。寒い中お集まりいただきましてありがとうございます。

今年も病院外来棟に子ども達の絵画はり絵など展示してありますので是非ご覧ください。



風の子保育園 園長：諏訪 栄子

『おせち料理について』

当院では、12月31日～1月3日までお正月特別メニューを展開しました。

♪伊達巻きや数の子などが入ったおせち盛り合わせ

♪まつたけ御飯に茶碗蒸し

♪うに松風焼き

♪きすにエビに椎茸など、沢山の具が入った天ぷら盛り合わせなど

「おせち料理」は、もともと季節の変わり目の節句(節供)に、神様に供える食べ物の中で「お節料理」と呼んでいました。しかし、節句の中でも、もっとも重要なお正月料理のことを「おせち料理」と呼ぶようになったと言われています。おせち料理はお正月の神様、年神様に供える料理であり、家族の幸せを願う縁起

ものの料理でもあります。このため、五穀豊穰、家族の安全と健康、子孫繁栄の祈りを込めた、海の幸、山の幸を豊富に盛り込んだものと言われています。

最後にお正月のことわざをひとつ

☆餅腹三日☆

餅の腹もちがよいことを示しています。「餅腹七日」とも言われます。餅は大きさの割にカロリーが高いのです。美味しいため、ついつい食べすぎてしまいますので注意しましょう。



栄養管理室：沢谷 里江

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2011年12月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器科		熊本 秀樹	熊本 秀樹	熊本 秀樹	熊本 秀樹	熊本 秀樹
呼吸器科		山本 勝丸	中川 英之	中川 英之	山本 勝丸	中川 英之
		下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子
消化器・血液内科		太田 健	太田 健	太田 健	太田 健	太田 健
		松木 明彦	五十嵐 崇徳	五十嵐 崇徳	五十嵐 崇徳	五十嵐 崇徳
		佐藤 年信	松木 明彦	佐藤 年信	松木 明彦	佐藤 年信
小児科		三上 珠希	野村 由美子	杉本 和彦	野村 由美子	野村 由美子
		杉本 和彦	佐藤 工	三上 珠希	佐藤 工	杉本 和彦
		-	三浦 文武	-	三浦 文武	-
外科		田澤 俊幸	高橋 克郎	横山 昌樹	横山 昌樹	三上 勝也
		三上 勝也	三上 勝也	田澤 俊幸	高橋 克郎	横山 昌樹
整形外科	午前	柿崎 寛	柿崎 寛	秋元 博之	秋元 博之 又は 八重垣 誠	柿崎 寛
		八重垣 誠	黒瀬 理恵	黒瀬 理恵	八重垣 誠	黒瀬 理恵
	午後	原田 義史	佐々木 静	八重垣 誠	浅利 享	秋元 博之 柿崎 寛
脳神経外科		-	-	木村 正英	-	-
皮膚科	午前	熊野 高行	佐藤 正憲	佐藤 正憲	熊野 高行	熊野 高行
	午後	佐藤 正憲	熊野 高行	熊野 高行	佐藤 正憲	佐藤 正憲
泌尿器科		● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
産婦人科		大和 隆	大和 隆	大和 隆	大和 隆	大和 隆
		木村 秀崇	尾崎 浩士	木村 秀崇	● 妊婦検診 (一般外来休診)	尾崎 浩士
眼科		柾木田 礼子	鈴木 洋一郎	柾木田 礼子		柾木田 礼子
耳鼻咽喉科		蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義
		黒田 令子	黒田 令子	● 手術 (一般外来休診)	黒田 令子	黒田 令子
放射線科	診断	二井 一則	二井 一則	二井 一則	二井 一則	二井 一則
	治療	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄
女性専用外来		-	-	川口 英夫 (午後)	-	-
セカンドオピニオン		-	-	-	今 充	-

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

新病棟 "キレイ" "新鮮" "あずましい" (ふたご座)

「レディ・ガガ」おらほの「カガ」も 負けてない (T.K)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。

皆さまから病院に対して『不安なことや不満なこと』『ご批判やご指摘』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

責任者：臨床研究部長 泉井 亮

URL <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>